

令和 6 年度かもんバス・かもんタクシーの利用状況について

1 かもんバス

1.1 月別利用者数の推移

○月別利用者数は、年間を通して日平均利用者数は 149 人/日～211 人/日程度で推移している。R5 年度の日平均利用者数は 172 人/日であったが、R6 年度は 184 人/日となり微増（7%増）した。

○R6 年 4 月は過年度と比較してやや少ないが、5～7 月は過年度を上回った。
⇒かもんタクシー値上げにより一部の利用者がかもんバスを利用するようになった影響と考えられる。

○R6 年 10 月から 3 月にかけては、更に利用者が増加した。これは、R6 年 9 月から R7 年 2 月に子育て世代に優しい公共交通へのリ・デザイン事業で行った小中学生無料乗車券配布や、子育て世代への回数券クーポンの配布、商店街のお帰り乗車券配布等の影響により、利用者が増加した可能性がある。

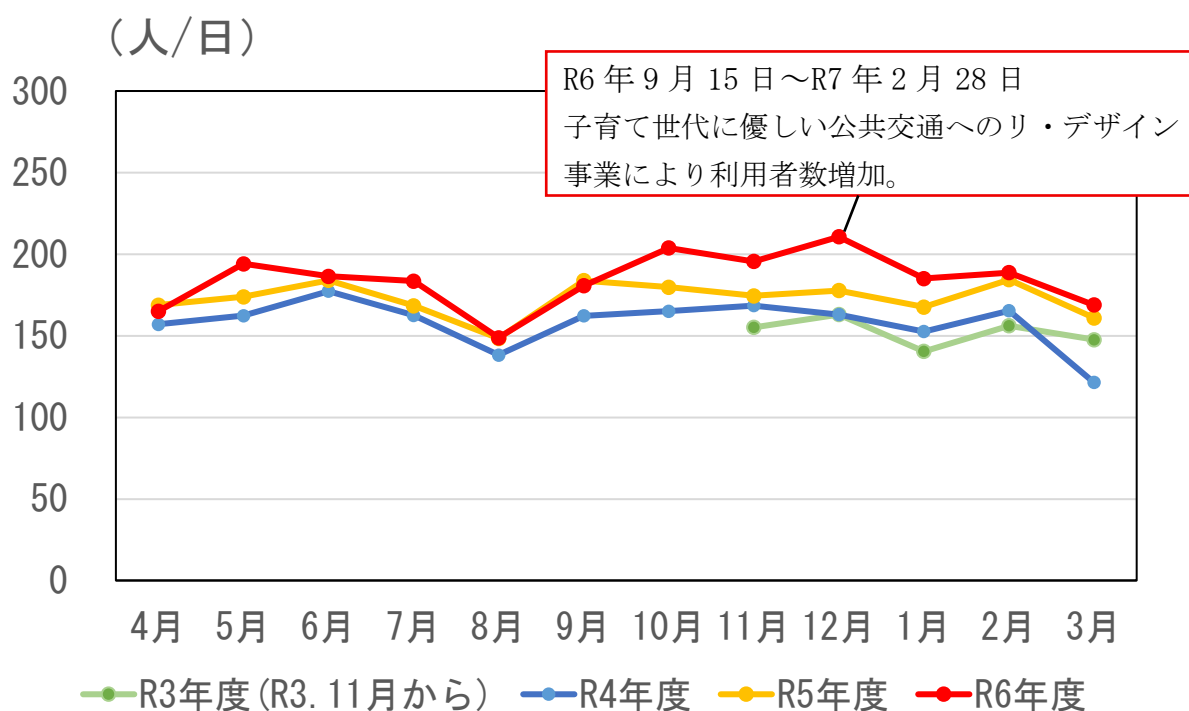


図 かもんバス月別日平均利用者数

1.2 小学生の利用状況

○9～11月は小中学生のかもんバス無料乗車券の利用者数と小学生の利用者数がほぼ一致していることから小学生の利用が多いことが示唆されるが、11月以降は無料乗車券の利用者が小学生の利用者よりも多くなっていることから、中学生の利用が増加したと考えられる。

○3月の春休み期間中の利用者数が最も多くなっているが、4月以降は利用者が減少したことから、改めて利用の周知が必要である（4月以降も小中学生無料券は配布済み）。

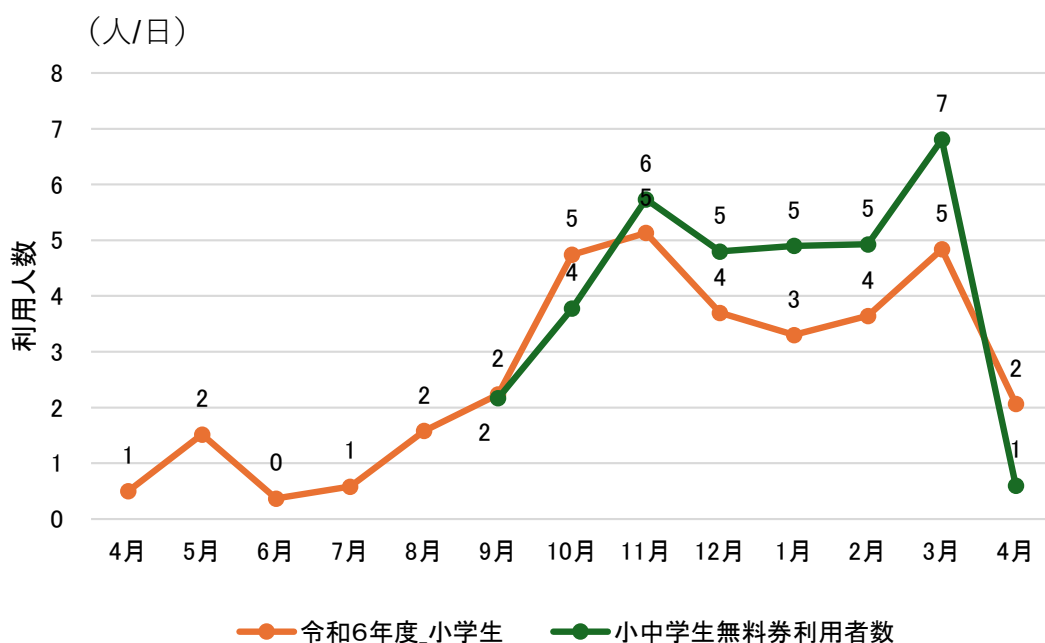


図 かもんバス小中学生月別日平均利用者数

1.3 便別平均利用者数

○須田線（経営大方面）の平日は通勤・通学時間帯である第2便の利用者数が多い。

⇒かもんバスを利用する高校生が増加したため。

⇒年度当初乗客がバスに乗り切れないことがあったため、増便の対応をしている。

○須田線（新飯田新町方面）の平日は帰宅時間帯にあたる第7～10便の利用者数が多い。

○七谷線（美人の湯方面）は美人の湯が開店する10時以降に利用できる第3～5便の利用が多く、学生等の帰宅時間帯にあたる第9～12便の利用が多い。休日は帰宅時間帯にあたる第9～12便の利用が少なくなる。

○七谷線（市役所方面）は通勤・通学時間帯である第1便の利用が多い。また、第2～3便の利用が多く、通院や買い物のために利用されていると考えられる。休日は第1便の利用が減るが、第2～3便の利用の減少は少ない。

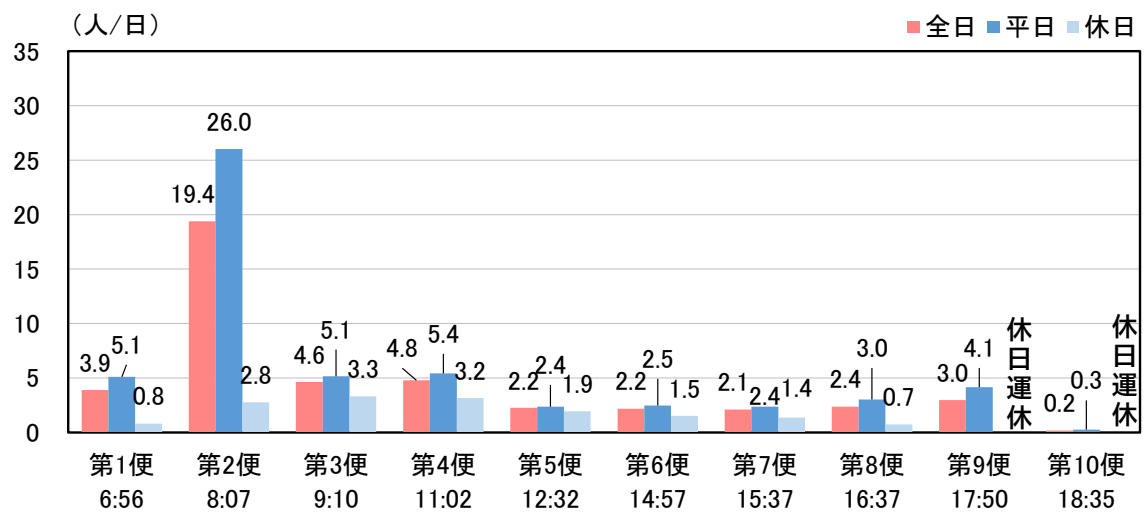


図 須田線（経営大学方面行） 便別日平均利用者数

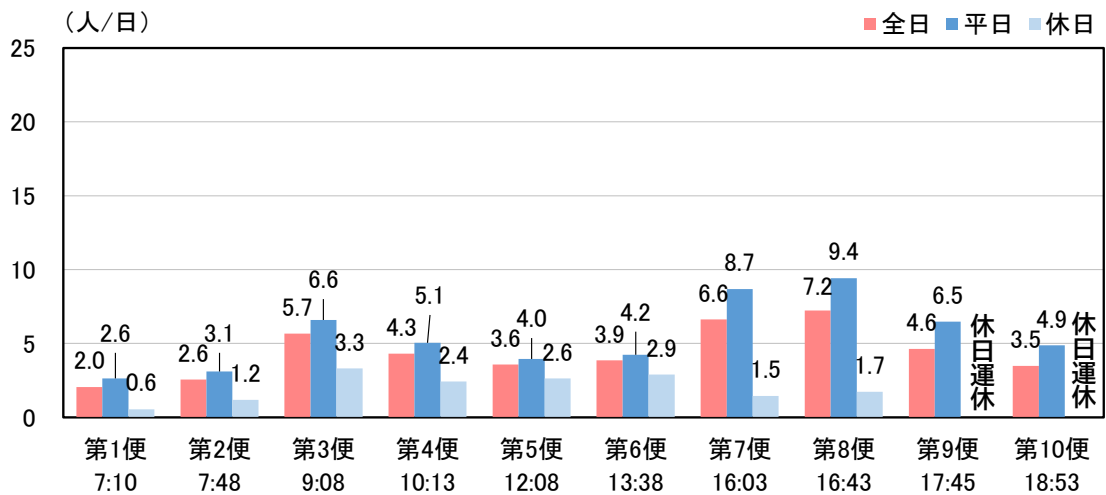


図 須田線（新飯田新町方面行） 便別日平均利用者数

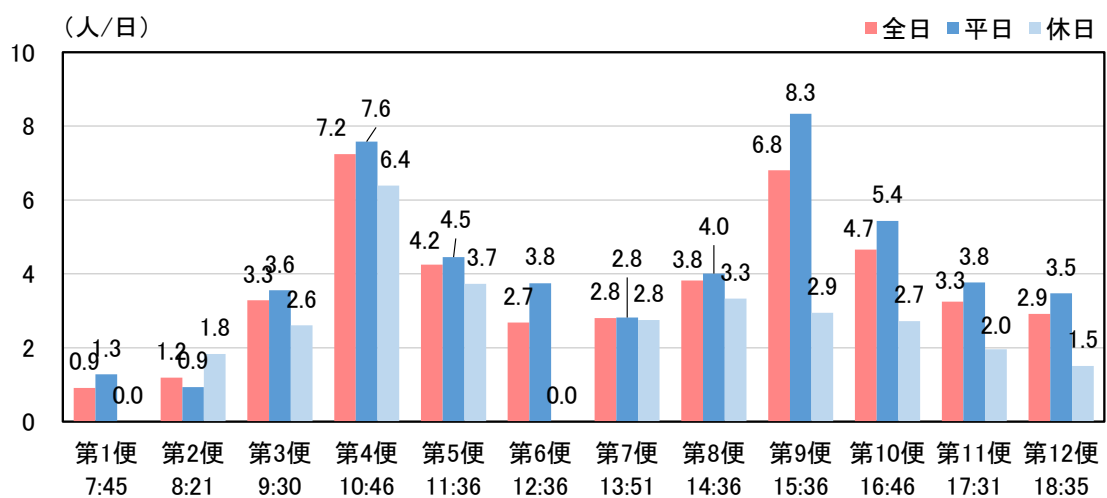


図 七谷線（美人の湯方面行） 便別日平均利用者数

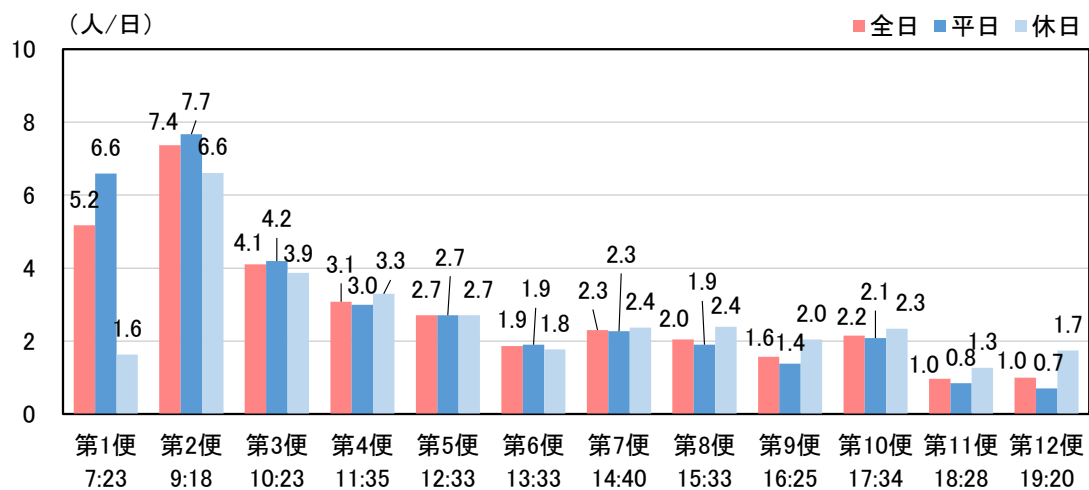


図 七谷線（市役所方面行） 便別日平均利用者数

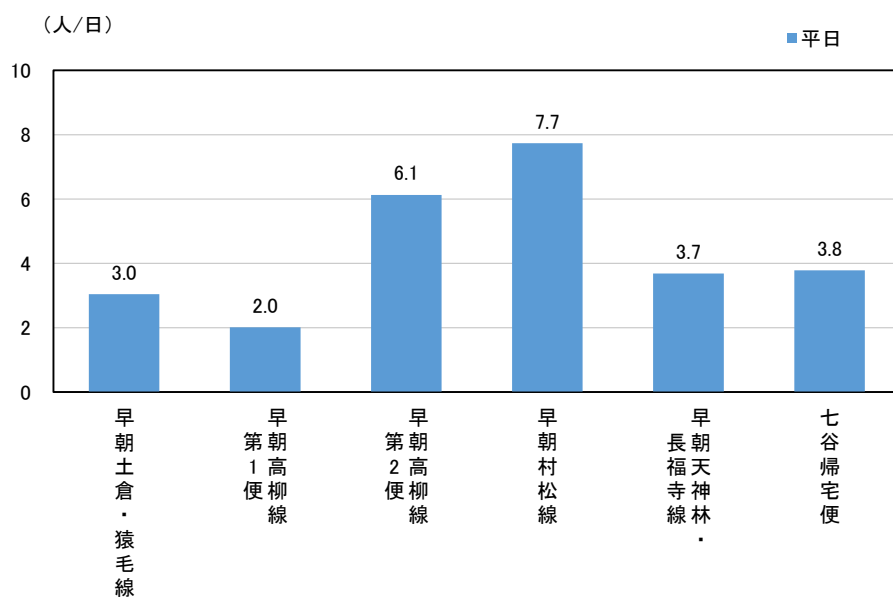


図 早朝路線（休日運休） 便別日平均利用者数

2 かもんタクシー

2.1 月別平均利用者数

○月別利用者数は、年間を通して日平均利用者数は28人/日～35人/日程度で推移している。R5年度の日平均利用者数は41人/日であったが、R6年度は31人/日となり減少した（24%減）した。

○月ごとの変動については、過年度と同様の傾向となっている。冬期の1月以降は、降雪の影響により利用者数が減少している。

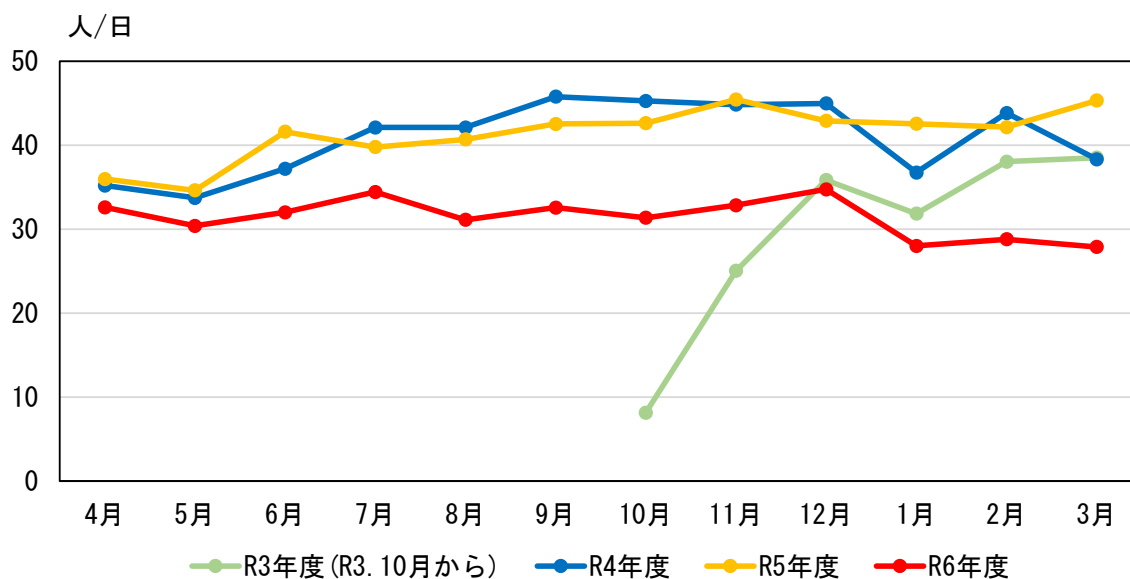


図 かもんタクシー月別日平均利用者数

2.2 1台あたり平均乗車人数

○R4年10月からR6年3月にかけて、平均乗車人数は1.8人/台程度で推移していたが、R6年4月から現在にわたっては1.6人/台程度となった。

⇒R6年4月からの運賃値上げで利用者数が減少したため。

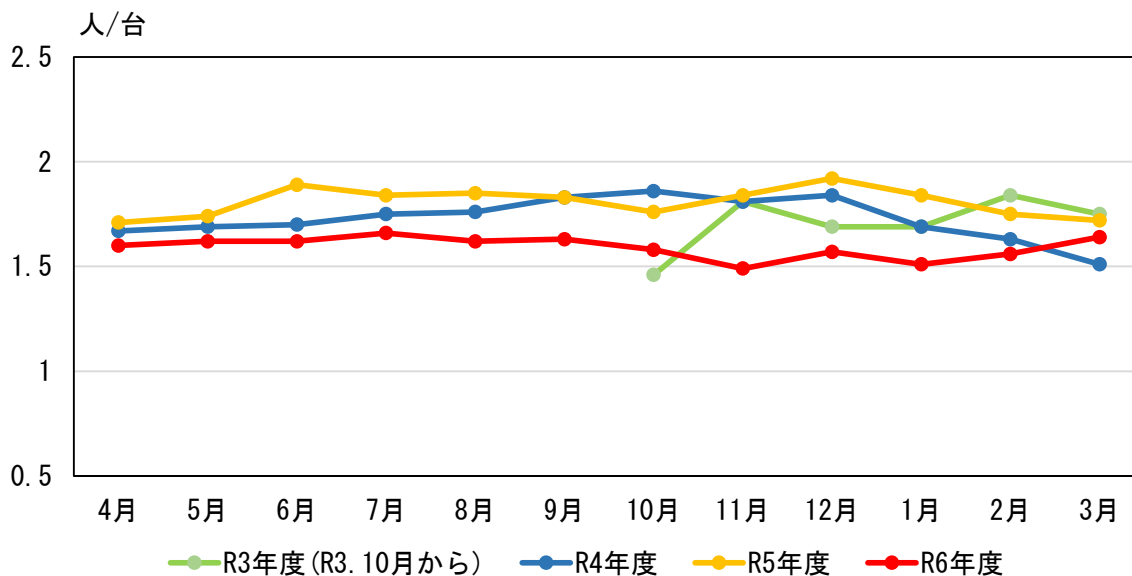


図 かもんタクシー月別1台平均乗車人数

2.3 便別平均利用者数

○平日は通院等に利用しやすい午前中の便の利用が多く、特に 9～11 便の利用が多い。

また、帰宅時間にあたる 15～16 時便の利用も多い。

○休日も 9～11 時便の利用が多いものの、平日比較するとどの時間帯も利用者が少ない。

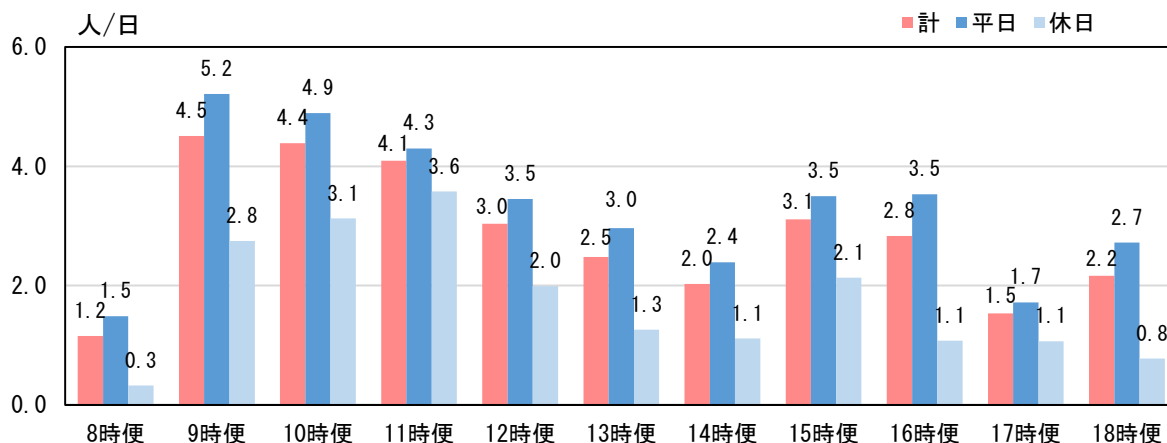


図 かもんタクシー便別 1 日平均利用者数

3 市営公共交通利用者数の推移

○かもんバスの日平均利用者数は、R5 年度は 172 人/日であったが R6 年度は 184 人/日となり微増（7%増）した。（再掲）

○かもんタクシーの日平均利用者数は、R5 年度数は 41 人/日であったが R6 年度は 31 人/日となり減少した（24%減）した。（再掲）

○総日平均利用者数は、R5 年度から R6 年度にかけて微増（1%増）した。

⇒かもんタクシーからかもんバスへ一部利用者が転換したことや、子育て世代に優しい公共交通へのリ・デザイン事業で実施した各施策による影響と考えられる。

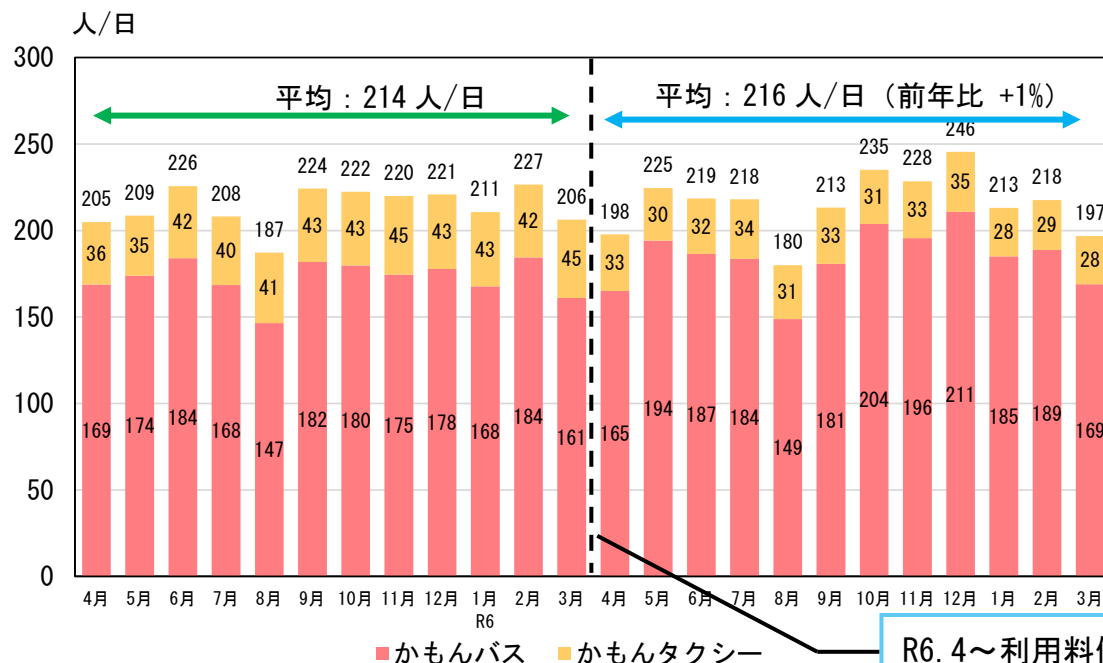


図 日平均利用者数の推移（値上げ前後の比較）

4 かもんタクシーからかもんバスへの一部利用者の転換状況分析

○かもんタクシーの各エリア間の利用者数と、かもんバスの各停留所の利用者数について、それぞれR5年度に対するR6年度の増減状況を集計した。

○かもんタクシーは市街地内の移動や、市街地⇄狭口の移動が減少している。

⇒どのエリアも R6.4 以降は一律 200 円の値上げであったが、元々の運賃が安いエリアについては、値上げ率が高く、利用が減少したと考えられる。

※特に市街地エリアはかもんバスが 30～40 分間隔の高頻度で走っているため、バス路線沿線に住む方はバスを利用して頂けるようにする狙いがあり、このような値段設定にしていた。

○かもんバスは、市街地エリアおよび狭口エリア（市街地エリア寄り）の停留所の利用者数が増加している。

⇒かもんタクシーを利用していた方のうち、バス路線沿線に住む方がかもんバスを利用するようになった可能性がある。

○一方で、かもんタクシーでは七谷エリア内の移動が減少し、かもんバスについても減少している停留所が多いことから、七谷エリアの公共交通利用促進や、七谷地域に合った運行内容の検討が必要。

表 かもんタクシー各エリア間の利用者増減（R5→R6）

■ : 減少率 1～50%
■ : 減少率 50～100%

	須田	市街地	狭口	七谷	村松	天神林	田上町
須田	0	34	-1	-1	0	6	1
市街地	33	-2649	-78	37	-4	1	8
狭口	-1	-103	0	4	0	4	-1
七谷	-1	-9	0	-116	0	1	-9
村松	0	0	0	0	0	0	0
天神林	1	-10	1	0	0	-18	0
田上町	-4	11	7	0	0	1	0

利用者数が大幅に減少した箇所は、値上げ率も高い

表 かもんタクシー各エリア間の運賃値上げ率（R5→

	須田	市街地	狭口	七谷	村松	天神林	田上町
須田	200%	140%	125%	120%	117%	167%	125%
市街地	140%	200%	167%	140%	125%	133%	150%
狭口	125%	167%	200%	167%	133%	133%	133%
七谷	120%	140%	167%	200%	150%	125%	125%
村松	117%	125%	133%	150%	-	120%	-
天神林	167%	167%	133%	125%	120%	200%	133%
田上町	125%	150%	133%	125%	-	133%	-

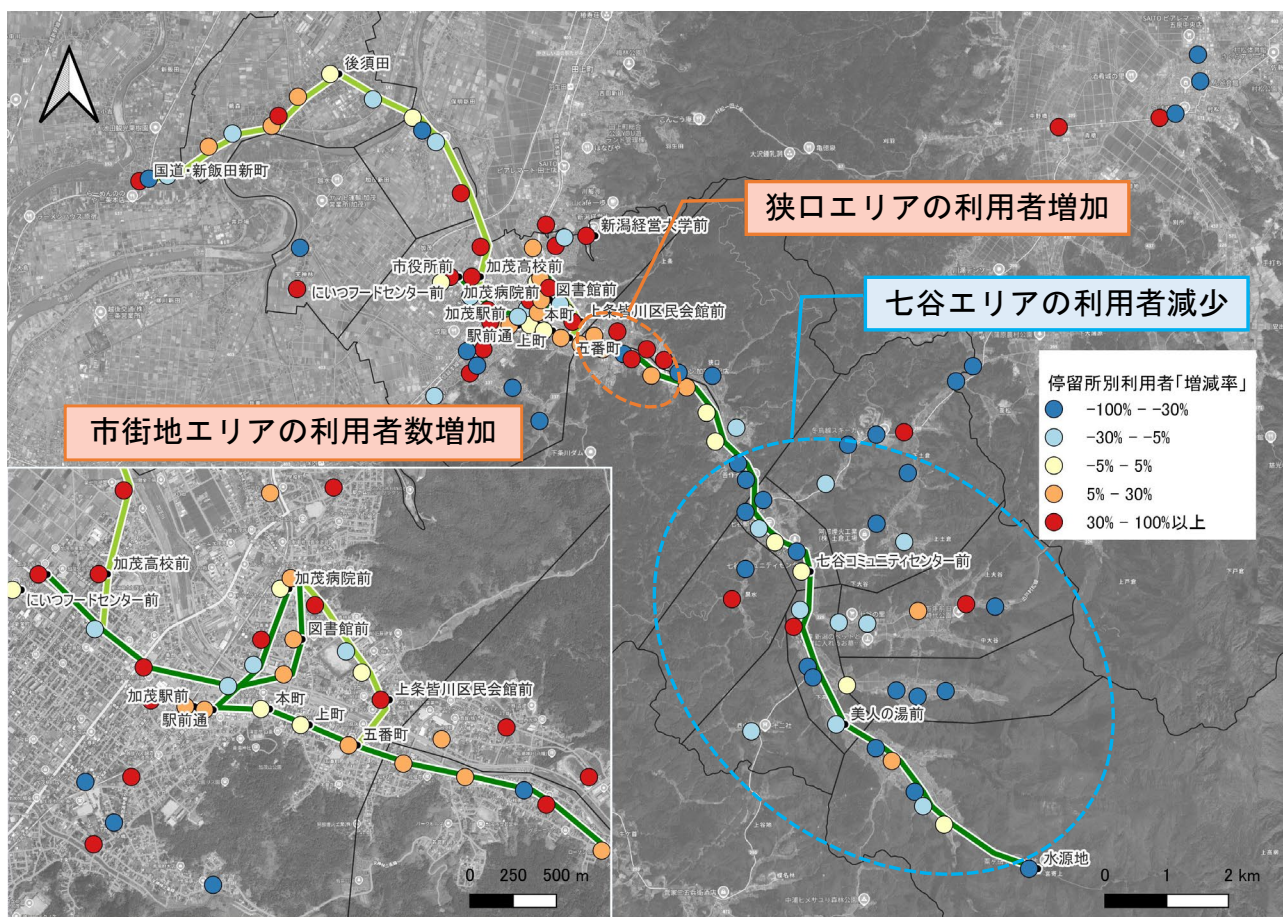


図 かもんバス各路線の利用者増減率 (R5→R6)

5 運行経費の変化

○かもんタクシーは運行便数が増えるほど、タクシー会社への運行委託費が増加する仕組みであることから、バスを使える方はバスに乗って頂くことで、運行経費を削減することができる。(かもんバスは運行便数に対して経費は一定で、利用が増えても経費の増加が無いため。)

○かもんタクシーは値上げの影響で運行便数が減少し、タクシー事業者への委託料が減少した。R6 年度は共創実証費による歳出の総額は増加したが、かもんバスの運賃収入が増加したことや共創補助金を国から受けたことにより、市負担金は減少した。

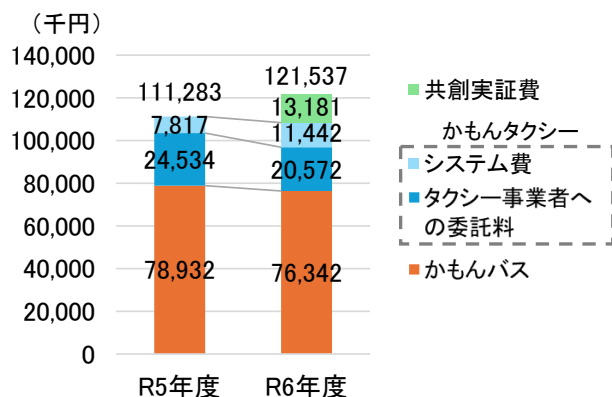


図 歳出額の比較

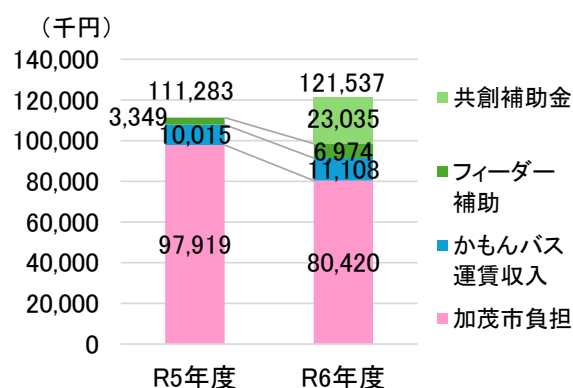


図 歳入額の比較

6 加茂市地域公共交通計画の評価指標の現況値

- かもんバスについては、利用者数、収支率ともに目標値を達成している。
- ⇒かもんタクシー運賃値上げによる一部利用者のかもんバスへの転換+小中学生無料乗車券の配布等の各種施策の影響により、利用者が増加した。
- ⇒また、利用者が少なかった便の廃止や、路線の縮小等により、運行経費が減少したことが、収支率の改善に繋がったと考えられる。
- かもんタクシーについては、値上げの影響もあり利用者数が基準よりも下回る結果となったが、収支率については目標値を上回っている。
- ⇒運賃値上げの影響により利用者数が減少による運賃収入の減少分よりも、運賃収入の増加がこれを上回ったためと考えられる。
- ⇒また、利用者数が減少したことにより、運行便数も減少しており、運行経費抑えられたことも収支率の維持に繋がっている。
- ⇒一方で、乗合率を高めて利用者数を増やすことで、運行経費を抑えつつ、利用者数を増やす検討を引き続き行う必要がある。

表 評価指標に対する達成状況 ※目標値に達していない場合は赤字

対応する目標	評価指標		基準値 (R4年度)	実測値 (R6年度)	目標値 (R10年度)	想定される要因
目標1 みんなのおでかけニーズを満たす移動サービスの整備	人口カバー率[%]		100%	100%	100%	R4年度と同様の運行形態のため
	利用者数[人/日]	かもんバス※1	165.3	184.3(※1)	181.8	かもんタクシー運賃値上げによる一部利用者が転換+各種施策
		かもんタクシー	40.6	31.4	47.8	運賃値上げによる利用者減の影響。
	利用者の満足度[%]※3	かもんバス	52%	-	80%	アンケート未実施のため
		かもんタクシー	73%	-	80%	アンケート未実施のため
目標2 持続可能な移動サービスの提供	収支率[%]	かもんバス	9.8%	14.6%	10.7%	路線縮小による運行経費の減少と利用料金収入の増加による影響。
		かもんタクシー	7.4%	12.9%	8.7%	運行経費の減少と利用料金値上げに伴う収入増加の影響。
	利用者一人あたりの行政負担額[円/人]	かもんバス	1265	1028	1138	運行経費の減少と利用者の増加による影響。
		かもんタクシー	2353	2434	2108	収入の増加率に対して、利用者の減少率の方が大きいため、一人当たりの行政負担額は増加した。
	公共交通グッズ販売による収益[円]		-	-	毎年増加	販売未実施のため
目標3 公共交通でおでかけしたくなる環境整備	中心市街地の利用者数[人/日]	かもんバス	73.7	84.2(※2)	88.4	運賃の値上げにより、かもんバスに一部利用者が転換した。
		かもんタクシー	13.8	9.9	16.6	
	美人の湯の利用者数[人/日]	かもんバス	7.4	7.3(※2)	8.9	かもんバス減便と、かもんタクシー値上げの影響と考えられる。
		かもんタクシー	0.2	0.1	0.2	利用促進が必要である。
	かも健康ポイント参加者の平均歩数[歩/日]		6567.0	-	65歳以上:6000 65歳未満:8000	キャンペーン未実施のため
	免許返納率[%]※5		1.5%	-	3.0%	警察に問い合わせの必要がある

※1 4、8、9月の一部期間データ欠損につき除

※2 R6/10/7～R7/3/30で算